

LMO

Winter

冬号の主な内容

年頭の挨拶	2
人物紹介	3
トピックス① 在日米軍従業員永年勤続者表彰式	4
トピックス② みるさと山口企業合同就職フェア における募集案内	5
各地の職場から	6
めでいがるうんじ	7
トピックス③ 入間航空祭における募集周知活動	8
トピックス④ キャンピングカーフェスティバル における広報活動	9
わが支部の顔	9
Information	10~12

LABOR MANAGEMENT ORGANIZATION

vol 67 2019.1



独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】

年頭の挨拶

理事長 中村 範明

明けましておめでとうございます。
皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返って見ますと、我が国においては、幅広い地域において自然災害が数多く発生し、多くの住民が被災されました。この中には、在日米軍従業員の方も含まれていますが、被災された皆様には、お見舞い申し上げますとともに、一刻も早い生活の再建・復興をお祈りいたします。我が国の外に目を転じましても、このような自然災害は、従来に比し、発生する頻度が多くなっている感じがします。統計的なデータを手元に有しているわけではありませんが、マスメディアの発達により被災報道がし易くなっているとの事情だけではないように思えます。人類の行為により地球が“悲鳴”をあげているといったことのないように、待ったなしに考え行動するタイミングなのではないでしょうか（既に手遅れでないことを祈るばかりですが・・・）



また、我が国を取り巻く安全保障環境に目を転じますと、やはりこの地域は、大規模な軍事力が集中する特異な地域であり、近年パワーバランスにも変化の影響が見られます。各国の政治体制や経済の発展段階、民族、宗教など多様性に富み、なかなか安全保障面の枠組みを形成するのが困難な地域であることから、安定のためには、米軍のプレゼンスは依然として非常に重要であります。そして、在日米軍の駐留に不可欠な労働力の存在が日米安保体制にとり重要な要素であることは論を待たないところです。

一方、経済の状況に着目しますと、企業収益や雇用・所得環境が改善し、我が国経済は緩やかに回復していると評価されています。特に、雇用情勢については、完全失業率が低水準で推移し、有効求人倍率が高水準になるなど、着実に改善が続いており、我々としても、必要な労働力を確保するために、在日米軍従業員の仕事の魅力といったものについて、更に広報に努めることが必要と考えています。

昨年、エルモにおいては、私をはじめ一部役員交代がありました。新しい体制になりましたが、役員一同、「基本理念」を常に心がけ、また、「行動指針」を踏まえた責任ある姿勢で、組織の的確な運営と業務の一層の向上を目指して、職務に邁進してまいりました。本年も、これを継続発展させたいと考えています。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年のよき日に当たり、皆様とご家族のご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。



人物紹介



Jeffrey Young

Contracting Officer's Representative and Chief
for Okinawa Human Resources Satellite Office,
Commander U.S. Navy Region Japan



ジェフリー・ヤング

在日米海軍日本管区司令部人事部
沖縄事務所の契約担当官代理者及び所長

Happy New Year and SHINNEN
AKEMASHITE OMEDETO
GOZAIMASU!

It is my pleasure and honor to serve
as Contracting Officer's Representa-
tive and Chief for Okinawa Human Resources
Satellite Office, Commander U.S. Navy Region
Japan.

I bring with me over 35 years of Human
Resources experience working with multiple
Department of Defense (DOD) organizations.
Prior to my arrival to Okinawa, I was serving as
the Chief of Human Resources Office and Acting
Associate Director at the Veterans Affairs
Hospital in San Antonio, Texas.

Okinawa Human Resources Satellite Office is my
first organization to work for in Japan and this
marks my first time working with the U.S. Navy.
Currently, my six staff members (one of them is
remotely supporting from our Region Human
Resources Office in Yokosuka) are providing
human resources service to approximately 1000
MLC, IHA and U.S. Civilian employees assigned
to 21 Navy and DOD organizations.

As I observe the employees, I see their dedica-
tion and hard work in every facets of work. I
would like to express my heartfelt appreciation
to them. Whenever the employees have any
issues in the area of Human Resource Manage-
ment, my office is here to help and contribute to
them.

I am looking forward to partnering and
strengthening the relationship with the legal
employer of MLC and IHA employees, Okinawa
Defense Bureau, along with Okinawa Branch of
Labor Management Organization for smooth
operation of Navy Personnel Management
Program of the employees.

I truly hope that the year of 2019 will be filled
with happiness for all of you and your family.
DOZO YOROSHIKU ONEGAI MOSHI AGEMASU.

新年明けましておめでとうございます。
います。

この度在日米海軍日本管区司
令部人事部沖縄事務所の契約担
当官代理者及び所長として就任したことを
大変喜ばしくまた誇りに思います。

私は国防省の多数の組織で35年以上に
わたり人事畑で働いてきました。沖縄に着任
する前までは、テキサス州サンアントニオ市に
ある退役軍人病院において人事部長及び次
長代理を兼務していました。

人事部沖縄事務所は私にとって日本で初
めて勤務する職場であり、またこれが初めて
の米海軍での勤務となります。

現在六名のスタッフ(内一名は横須賀の
人事本部から遠隔支援を提供している。)が、21の海軍及び国防省部隊に配属される
約1000名の基本労務契約従業員、諸機関
労務協約従業員そしてアメリカ人軍属に対
して人事サービスを提供しています。

従業員の働きぶりを拝見し、従業員の献身
と努力が職務の全面から見てとれたことにつ
いて彼らに心より感謝の気持ちを表します。
従業員が人事管理上の問題を抱えていると
きはいつでも彼らを支援しまた貢献するた
めに当事務所は存在します。

さらに、基本労務契約及び諸機関労務協
約の下で働く海軍従業員の人事管理の円
滑な運営のために、従業員の雇用主である
沖縄防衛局並びに労務管理機構沖縄支部
と協力した関係を深めていくことを楽しみに
しています。

皆さまとご家族にとって2019年が幸多
き一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、
新年のご挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしくお祈り申し上げます。

トピックス①

平成30年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式（三沢支部）



平成30年10月26日（金）、15時から三沢飛行場内の統合クラブにおいて、平成30年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が開催されました。

この式典は、青森県内に所在する在日米軍施設に永年にわたり勤務した在日米軍従業員の方々の御苦勞をねぎらい、あわせて労働意欲の向上を目的として、防衛省と在日米軍との共催により毎年開催されています。

本年は、勤続40年表彰4名、勤続30年表彰31名、勤続20年表彰102名、勤続10年表彰21名の合計158名の方々が表彰の榮譽を受けられました。

当日は、三沢市をはじめとする関係機関からのご来賓、防衛省、在日米軍、エルモ及び被表彰者の職場関係者が多数出席し、エルモからは竜寄理事が出席しました。

表彰式は、ソプラノ歌手の坂本利枝子様による「君が代」の独唱並びに在日米空軍第35施設隊消防隊所属のトゥラフォノ・シリ空軍一等軍曹による「星条旗」の独唱で始まり、伊藤茂樹東北防衛局長及び在日米空軍第35戦闘航空団司令官クリストファー W. ストルーヴィ大佐の式辞に続き、主催者から各勤続年数の代表者に表彰状と記念品が授与され、被表彰者を代表して在日米軍従業員として勤続30年を迎えられた佐藤恵子さんが答辞を述べられ終了しました。



表彰式終了後、式典会場に併設された会場において懇親会が執り行われ、ご来賓、米軍及び防衛省関係者等が被表彰者と歓談し、和やかな雰囲気の中でひと時を過ごされていました。

平成30年度永年勤続表彰被表彰者数一覧表

区分	三沢	横田	横須賀	座間	富士	岩国	呉	佐世保	沖縄	計
10年	21	64	153	59	4	33	8	35	144	521
20年	102	119	200	66	3	40	6	52	423	1,011
30年	31	50	190	60	3	31	11	42	73	491
40年	4	0	26	2	0	2	0	0	5	39
計	158	233	569	187	10	106	25	129	645	2,062

トピックス②

ふるさと山口企業合同就職フェアにおいて 在日米軍従業員の募集案内を行いました。(岩国支部)

平成 30 年 10 月 26 日(金)、山口県の玄関口である新幹線の新山口駅近くにある山口グランドホテルにおいて開催された「ふるさと山口企業合同就職フェア」に岩国支部から募集担当者が募集活動の一環としてブースを設置し、会場ブースに訪れた求職者と面談をして、在日米軍従業員の募集案内を行いました。

ふるさと山口企業合同就職フェアについて

就職フェアは厚生労働省山口労働局・ハローワークが主催、山口県内の各団体等が共催し、山口県内で正規雇用を目指す求職者と人材の採用に積極的な企業に対し、地域に密着した出会いの場を提供することを目的としており、今回午前の部、午後の部と分けて計約 160 社の企業等が参加しました。



就職フェア会場



面談会場（ブース設営中）

求職者との面談について

面談は求職者が約 160 社の企業一覧から選択し、希望する企業のブースに訪問する形式をとっており、多くの中から私たちのブースを選択して頂いた方と行うことができます。今回おかげさまで多くの求職者から訪問があり、2 時間半の持ち時間のほとんどを在日米軍従業員の募集案内に使用することができました。

在日米軍従業員の募集案内について

募集案内は会場に訪れる多くの求職者が在日米軍従業員の予備知識を持っていないため、求職者の希望はもちろん、職歴や資格をお聞きし、現在岩国基地から出ている募集の様々な職種から、求職者の希望とキャリアに応じた米軍基地の仕事を選択して丁寧に紹介しました。



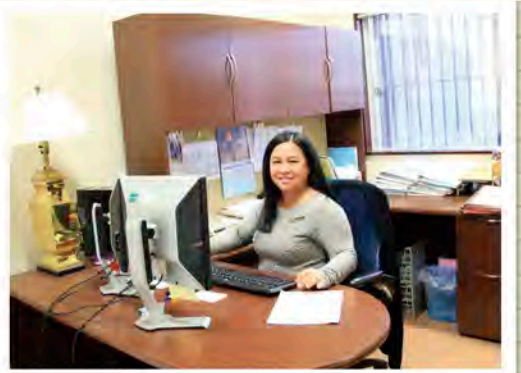
求職者との面談光景

エルモでは、このように在日米軍従業員の仕事をご紹介できる機会があれば情報をお待ちしております。

また、在日米軍従業員に就職を希望する皆様は、エルモのホームページにおいて最新の募集情報が閲覧できますので、疑問等があればなんでもお問い合わせください。

各地の職場から

今回は神奈川県厚木基地に勤務し活躍されている方々を紹介します。



プロフィール

お名前：滝澤 優介
 職場名：厚木基地車両登録/バスオフィス
 職種：管理専門職
 趣味：食べ歩き、水泳、自転車

プロフィール

お名前：テビー・トレンティーノ
 職場名：米海軍日本管区司令部 人事部厚木支所
 職種：人事専門職
 趣味：料理、お菓子作り、ガーテニング、読書

コメント

厚木基地は1945年8月30日に連合国軍最高司令官マッカーサー元帥が降り立った飛行場として知られており、日本が戦後復興を目指して大きく変貌を遂げる第一歩を踏み出した場所とされています。

そうした歴史のある厚木基地はその名称から神奈川県厚木市に所在しているイメージがありますが、実際には大和市と綾瀬市にまたがって所在しています。初めて厚木基地にいらした方々からは、厚木市にあるものだと思っていたという話をよく耳にします。私自身も、厚木基地で勤務する前までは厚木市にあるものだと勘違いしておりました。

私の勤務する事務所は厚木基地の正門の真横にあります。厚木基地を訪問する様々な方に基地入門に必要なパスを発行したり、新たに赴任してきた方のID(身分証)カードをデータベースシステムに登録したり、厚木基地に勤務する軍人及び軍属の車両情報を登録管理することなど、基地への円滑な入退門を支援することを主な任務としています。

日々の業務の中で、訪問者に必要書類の案内や、基地入退門に関する規則を説明する機会が多々あるため、私自身が基地の規則について熟知しておく必要があります。また規則が改定された際には速やかに周知徹底を図り、新しい規則に即して対応する柔軟性が求められます。そこに業務の難しさがあり、またやり甲斐を感じる部分なのではないかと思えます。

厚木基地の正面玄関として、公私を問わず厚木基地を訪問される方々が最初に立ち寄る事務所であるので、失礼のないように常に冷静に丁寧な対応を心がけて日々の業務に励んでおります。厚木基地にお越しの際は、どうかお気軽にお声をおかけください。

コメント

こんにちは！私は厚木基地で働き始めてもうすぐ10年になります。最初はパートタイム従業員として働き始め、数年後に常用従業員になりました。私はフィリピン出身ですが、幸運なことに現在は家族と一緒に日本で暮らしています。私の二人の子供たちは日本で生まれ、家族全員美味しい食物が食べられ、安全な環境で暮らせる日本が大好きです。

多様性のある厚木基地で働くのが私にとっても大好きです。なぜなら様々な人種の人達に会えるからです。私はここで多くの友達に巡り合うことができました。時期が来ればアメリカ本国に帰らなければならない人もいますが、また新しい友達に巡り合うこともできます。日本に住んでいながら多様な文化に触れあえるのが厚木基地で働く醍醐味の一つだと思います。

現在は人事専門職として人事部厚木支所で働いています。私は主にアメリカ人軍属に対する人事サービスの提供業務を担当しています。私の具体的な業務は募集、採用、海外勤務手当等の処理業務だけに止まらず多岐に渡ります。人事関係の書類、例えばID(身分証)カード申請書、雇用証明書、任期延長申請書、出張命令書等の人事関係の文書に限らず様々な書類の準備をします。また新しく日本に赴任してきたアメリカ人従業員に対してオリエンテーション講習会を行い海外勤務手当やその他海外特有の人事制度の説明を行ったりします。私の仕事はネットワークシステムを通して、一人一人の従業員のために必要な個々の書類を作成したりまたは遠隔地で働く従業員のために事務処理のサポート業務を行っています。

毎日のほとんどの時間をパソコンでの作業、電話対応、メールの返信、各従業員や部隊からの問い合わせに費やしています。業務の地理的範囲は厚木基地だけではなく、三沢、岩国、沖縄、東京、そして日本国外で働く従業員に及びます。人事課で働き始めてまだ二年目ですが、毎日たくさん業務に集中するあまり、時間が瞬く間に過ぎていくことに気がつかないことが多々あります。しかし、常々職場の同僚に助けられていることに感謝しています。

多岐に渡る人事業務が学べるこの仕事が私は好きです。この人事の仕事はとて興味深いものがあり、毎日一人一人の従業員のそれぞれに異なる問題に向き合っているチャレンジ精神を生みだしてくれます。まだまだ学ばなければいけないことが山のようにありますが、自分が募集と採用に関わった従業員がアメリカ本国から日本に赴任して来て実際に顔と顔を合わせて会うことができることは本当に素晴らしい体験です。

厚木基地に赴任してきた従業員の方々がまず最初に行きなければならないのが私たちの事務所です。彼らの日本での海外勤務という大切な期間が少しでも滞りなく進むよう人事部スタッフの一員として最大限のサポートをしていきたいと思っています。

めでいかるらうんじ

糖尿病について

糖尿病は血液中のブドウ糖濃度が持続的に上昇している状態（高血糖）の病気で、すい臓から分泌されるインスリン※の働きが低下することが原因です。高血糖状態は血管壁を障害して動脈硬化を促進するため、糖尿病は全身の血管病を引き起こします。

※ 血液中のブドウ糖を細胞内に取り込んで血糖値の上昇を抑えるホルモン

糖尿病の成因には、すい臓のインスリン分泌細胞が破壊された1型糖尿病と、遺伝的素因に加えて過食や運動不足などの生活習慣により発症する2型糖尿病、その他妊娠糖尿病などがあります。日本人では2型糖尿病が90%以上と大部分を占めています。

糖尿病は昭和30年頃までは稀な病気でしたが、生活習慣の変化に伴って増加を続け、糖尿病推定有病率は30倍以上に増加しています。平成9年以降の統一した基準による調査では、「糖尿病が強く疑われる者」が約1,000万人、「糖尿病の可能性を否定できない者」が約1,000万人に達しています。「糖尿病が強く疑われる者」はこの10年間でみると、有意な増減はみられませんが、年齢階級別では年齢が高い層でこの割合が高くなっています（図1、2）。（平成28年 国民健康・栄養調査 厚生労働省）

糖尿病の診断

まずは空腹時血糖値と糖負荷試験で“糖尿病型”（1時点での高血糖の存在確認）の判定をします（表1）。

なお、随時血糖値200mg/dL以上およびHbA1c 6.5%以上の場合も糖尿病型とみなします。

次に、再検査や典型的な症状（口渇・多飲・多尿・体重減少など）・糖尿病網膜症などにより、慢性的な高血糖の存在を確認して“糖尿病”と診断します。

ただし、正常型であっても食後140mg/dL以上の急激な上昇（血糖値スパイク）、特に食後1時間値が180mg/dL以上（食後高血糖）は血管にダメージを与え、糖尿病に悪化する危険が高くなります。（日本糖尿病学会）

糖尿病の治療は食事療法と運動療法が重要ですが、糖尿病治療薬は最近10年間に目覚ましい進歩を遂げ、糖尿病治療が激変しました。しかし、糖尿病治療が進化した一方で、糖尿病の治療を受けている人の割合は76.6%、性別では男性で78.7%、女性で74.1%に留まり、特に40歳代男性では51.5%と他の年代より著しく低くなっています（平成28年 厚生労働省）。さらに生活習慣の改善を怠ることなどで、治療目標を達成できている人が少ないのが現状です。

糖尿病のコントロール不良、または罹病期間の延長は、網膜症・腎症・神経障害の三大合併症（細小血管病）や、脳卒中、虚血性心疾患などの大血管病の発症・進展を促進させます。細小血管病は血糖値のコントロール（HbA1c 7%未満）により減らせますが、大血管病は低血糖など血糖値の変動を少なくし、体重もコントロールしなければ発症を抑えられません。また、糖尿病は血管病だけでなく、がんや認知症（アルツハイマー病）のリスクになっていることも生活の質を著しく低下させる重大な問題です（図3、4）。



産業医
やました かつひろ
山下 勝弘 先生
医学博士（東京医科歯科大学）
日本内科学会認定専門医
日本循環器学会認定専門医
日本医師会認定産業医

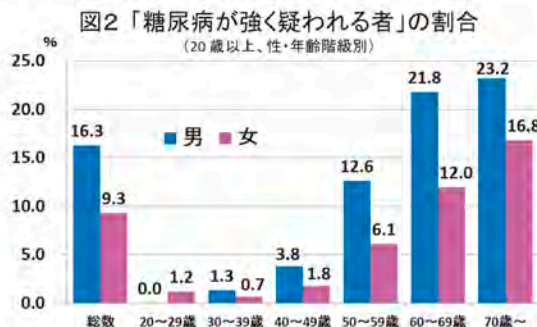
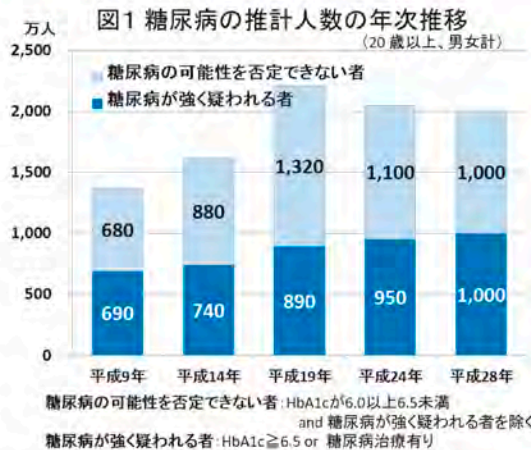


表1: 空腹時血糖値および75g 経口ブドウ糖負荷試験による判定区分

	空腹時	負荷後2時間	判定区分
血糖値	126mg/dL以上	または 200mg/dL以上	糖尿病型
	糖尿病型にも正常型にも属さないもの		境界型
	110mg/dL未満	および 140mg/dL未満	正常型

図3 糖尿病と“がん”による死亡

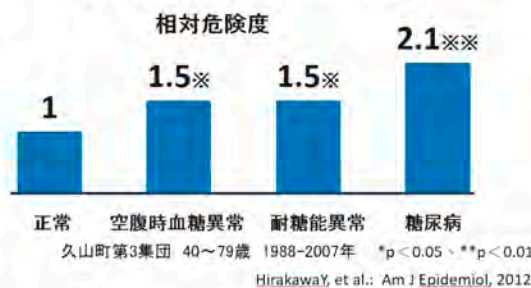
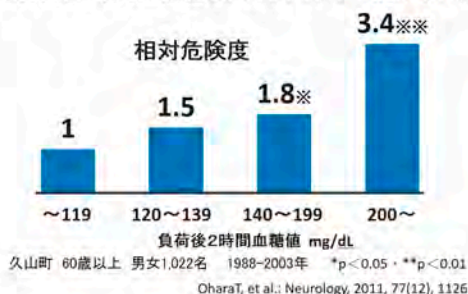


図4 負荷後2時間血糖値とアルツハイマー病のリスク



トピックス③

入間航空祭で在日米軍従業員の募集周知活動を実施 (横田支部)

平成30年11月3日(土)、航空自衛隊入間基地で開催された「入間航空祭」において、横田支部は、エルモとして初めて、在日米軍従業員の募集周知活動を行いました。今回の募集周知活動は、今年5月、エルモの竜峯理事及び城間支部長が同基地の中部航空方面隊司令官及び入間基地司令を表敬訪問したことがきっかけです。同理事から、在日米軍従業員の募集について朝雲新聞に特集記事を掲載、自衛官OBが在日米軍従業員として活躍していることを紹介したところ、興味を示され、また、入間航空祭で在日米軍従業員の募集案内のパンフレットなどを配布したいという当方の要望に対し快諾をいただいたことから、1号隊舎前のメイン通りに、エルモ専用のブースを確保することができました。

当日は、天候にも恵まれ約19万人もが来場したとのことですが、まず、その人出の多さ、関心の高さに驚かされました。ブース前に立って、パンフレットやリーフレットの配布を始めると、米軍基地に日本人の働ける職場があることに興味を抱いた方、うちの子供あるいは孫のためにと言われる方、とりあえず航空祭の記念にもらっていこう(?)という方・・・様々な方々に受け取っていただきました。また、在日米軍従業員の募集ポスター【日本の「アメリカ」で働きませんか】に興味を惹かれ、我々のブースへ訪れる方も多数おり、どのような仕事があるのか、従業員の身分は国家公務員なのか、年齢制限はあるのか、英語力はどの程度必要なのかなど、熱心に尋ねてこられました。パンフレット等約2,000部を用意していましたが、みるみる減っていき、最後には、手持用の資料までも手渡すような状況でした。

当支部は、盛況のうちに募集周知活動を終えることができましたが、これも中部航空警戒管制団司令部基地渉外室長、第4補給処資材計画課武器係長をはじめ、入間基地の隊員の方々のおかげです。場所の確保からテントの設営まで、いろいろご配慮・ご協力いただきました。紙面をお借りし、篤く御礼申し上げます。



募集周知活動に励む横田支部職員

トピックス④

LMO沖縄支部キャンプキンザーフェスティバルで広報活動

去る10月27日及び28日の両日にわたり、牧港補給地区で開催されたキャンプキンザーフェスティバルにおいて、海兵隊の協力を得て、MCCS 人事部とともに松川支部長を先頭に7名の沖縄支部職員で在日米軍従業員事前募集について広報活動を実施しました。当日はフェスティバル会場において、来客者に対し当機構HPのQRコード付募集インフォメーションカードを配布するとともに、ブース内においては募集パンフレット及び募集要項を用い、在日米軍従業員事前募集の登録方法などについて御案内しました。当日のフェスティバル会場は、風が強くブースに貼り付けたのぼり、ポスターなどが強烈にたなびいており、その中、来客者は強風にあおられながらも、足を止めてインフォメーションカードを受け取ったり、また、ブース内では支部職員の説明に真剣な表情で耳を傾けられていました。今後も機会を得て、種々の広報活動を実施し、在日米軍従業員事前募集の広報に努めてまいります。



わが支部の顔

今回は東京都の横田支部からです。



氏名 おおかき ゆうが
大柿 優雅

所属 管理課管理第二係

担当業務 募集、人事措置等



なおえ つばさ
直江 翼

給与厚生課給与厚生第三係

社会保険業務、財形貯蓄業務、
労働災害業務、給与業務



コメント 私は、平成28年4月にエルモ横田支部の管理課総務経理係に採用され、現在は管理課管理第二係にて、在日米軍施設の求人募集業務、採用から雇用終了までの各種人事措置に係る業務等を担当しています。

在日米軍は、事務・技術、技能・労務関係、警備・消防関係等、様々な職種の人材を求めています。募集情報は我々エルモの各支部担当者がエルモホームページに随時掲載していますので、是非御覧いただければと思います。

横田支部は、主に横田飛行場等東京都にある在日米軍施設を管轄しております。応募手続、求人条件等で詳しくお知りになりたい方は、お気軽にエルモ横田支部管理課までお問い合わせください。

私は、平成28年10月に横田支部に採用され、給与厚生第三係において社会保険業務、財形貯蓄業務、労働災害業務及び給与業務に従事しています。

幅広い業務を行っている給与厚生課に配属となり、社会保険業務等を覚えて運用するのは大変ですが、在日米軍従業員の皆様方の生活に欠かすことのできない業務に携わることができ、日々やりがいを感じながら業務に取り組んでいます。

社会保険の被扶養者認定業務時には説明が長くなってしまい、自身の未熟さを感じることもありますが、皆様方により良いサービスが提供できるよう職場の上司や先輩職員の指導を受け日々精進していきたいと思っていますのでよろしくお願いたします。



女性従業員の皆様へ

婦人がん検診を受診しましょう

エルモでは成人病予防健康診断として
婦人がん検診(乳がん・子宮がん)を実施しています。
今年度の受診申込みをされた方は、積極的に受診しましょう！

「乳がん」ってどんな病気？

乳がんは、乳房の中にある乳腺(母乳をつくるところ)にできる悪性腫瘍です。日本では年間約72,500人が発症し、**約13,000人が死亡**しており、女性ではがん死亡全体の約9%を占めます。

年齢別にみた女性の乳がんの罹患率は、**30歳代から増加をはじめ、40歳代後半から50歳代前半でピークを迎え**、その後は次第に減少します。

「子宮(頸)がん」ってどんな病気？

子宮頸がんは、子宮の入り口である子宮頸部の表面の細胞にがんができる病気です。日本では年間約10,900人が発症し、**約2,900人が死亡**しており、女性特有のがんの第2位の発症率となっています。

年齢別にみた子宮頸がんの罹患率は、**20歳後半から40歳前後まで高くなった後横ばいで、近年、罹患率、死亡率ともに若年層で増加傾向**にあります。



**がんを早期に発見するには
検診が効果的です！**



上記2つのがんは、初期症状がほとんどなく、自覚症状があらわれる頃には症状が進行していることが少なくありません。早期に発見することによって、治癒率の向上はもちろんのこと、女性にとって大切な乳房や子宮を温存することもできます。

厚生労働省では、がん検診の受診率を50%以上とすることを目標に、がん検診を推進していますので、検診をためらわず、継続的な受診を心がけましょう！！



アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口について

エルモでは、アスベスト(石綿)に係る在日米軍従業員の皆様の健康相談窓口を開設しております。
アスベスト(石綿)に係る健康相談を希望される方は、下記に掲げる最寄りの窓口にご相談ください。

- 対象者 在日米軍従業員及び在日米軍基地に勤務され退職された方々等
- 相談内容 アスベスト(石綿)に関すること
 - (例) ● 御自身の健康不良や健康不安に関すること
 - 労災補償制度、健康管理手帳制度等に関すること
 - 相談機関の紹介に関すること等

御利用方法等については、エルモホームページ又はエルモ支部までお問い合わせください。
ホームページアドレス：<https://www.lmo.go.jp>



アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口

担当部署	住所	電話番号
労務部厚生課	〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田MTビル6階	03-5730-2168
三沢支部給与厚生課	〒033-0012 青森県三沢市平畑 1-1-25	0176-53-4165
横田支部給与厚生課	〒196-0014 東京都昭島市田中町 568-1 昭島昭和第2ビル4階	042-542-7883
横須賀支部給与厚生課	〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通 1-6 村瀬ビル4階	046-828-6946
座間支部給与厚生課	〒252-0011 神奈川県座間市相武台 1-46-1	046-251-0702
京丹後支部	〒629-2503 京都府京丹後市大宮町字周枳 1975 MICビル1階	0772-68-0920
岩国支部給与厚生課	〒740-0027 山口県岩国市中津町 2-15-35	0827-21-1271
呉分室	〒737-0051 広島県呉市中央 1-6-9 センタービル呉駅前4階	0823-32-7087
佐世保支部給与厚生課	〒857-0056 長崎県佐世保市平瀬町 3-1	0956-23-7191
沖縄支部厚生課	〒904-0202 沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良 1058-1	098-921-5534

心の健康相談について

在日米軍従業員とその御家族の皆様の精神的な悩みなどについて、24時間いつでも電話相談に応じています。

プライバシーは完全に守られます。どうぞお気軽に御利用ください。

実施期間

平成31年3月31日まで

相談できる人

在日米軍従業員の皆様のほか、御家族の方も相談できます。
※家族の範囲は配偶者及び子、同居親族、別居中扶養親族となります。

費用

相談料は、無料です。ただし、面接相談は、5回まで無料とし、6回目以降の相談は有料となります。
また、治療行為と認められる経費、交通費等、相談料以外に要する経費は自己負担となります。

留意事項

勤務時間中に電話、面談又はWEBにて相談をされる際は、事前に監督者の許可を得てください。
(緊急の場合を除く。)

電話・面接カウンセリング

「相談センター」24時間電話相談対応!



専用のフリーダイヤルより御連絡ください。
面接の申込みも同じ電話番号からお申し込みいただけます。



※ 面接は、日本の祝日・日曜日、12月29日～1月3日を除く、
月曜日～土曜日 11:00～18:00(面接の終了時間)の対応となります。

WEBカウンセリング

- ① 専用のアドレスにメールを送信してください。
- ② 上記アドレスから回答が3営業日以内に届きます。



※1 携帯電話からメール送信される場合は、上記のメールアドレスが受信できるように設定してください。
※2 年末年始期間は、3営業日以内に回答できない場合があります。

※ 専用のフリーダイヤル、メールアドレスなど、御利用方法の詳細については、エルモホームページで御覧いただけます。

ホームページアドレス：<https://www.lmo.go.jp>

募集案内 在日米軍従業員を募集しています!

エルモホームページでは、在日米軍従業員の求人情報を掲載しております。
興味のある方は、最寄りの支部にお問い合わせいただくか、エルモホームページをご覧ください。

日本の「アメリカ」で働きませんか「エルモ」が応援! あなたの就活!

●在日米軍基地で働くとは
在日米軍は、日本企業並みの給与・福利、在日米軍が健闘しています。
この在日米軍の活躍の場には、多くの労働者が、国(防衛大臣)が雇用し、在日米軍に提供しています。
在日米軍基地で働いている方は、在日米軍従業員又は駐留米軍労働者と呼ばれ、業務や労務、給与等も多岐にわたる支援を受けながら働いています。
在日米軍においては、その多岐にわたる業務に関する豊富な知識や経験を身につけることができます。

ホームページアドレス <https://www.lmo.go.jp> LMO 検索

■窓口応募受付お問合せ **LMO** 独立行政法人 駐留米軍等労働者労務管理機構【エルモ】

本州・九州の基地

米軍基地でチャレンジ!!

あなたの
実力・可能性を
試してみませんか?
事務系・技術系・労務系・
保安系・サービス系など
多種あります!

在日米軍従業員への応募は事前登録制で随時行っています。

応募方法: 本ホームページ(PC・スマートフォン)から応募

窓口応募: 駐留米軍等労働者労務管理機構 沖縄支店
〒901-8502 沖縄県那覇市美里1-1-1
TEL: 098-947-3632
受付時間: 午前9時～午後5時(土曜・日曜・祭日を除く)

パソコン・スマートフォンから応募
詳しくは、エルモホームページ
<https://www.lmo.go.jp>
求人情報: セクショントラック (在日米軍労務管理センター)
※お申し込みの際は必ずお名前を
お書きください。

LMO 独立行政法人 駐留米軍等労働者労務管理機構【エルモ】

沖縄の基地

インターネットによる応募を受け付けております。

ホームページ(PC及びスマートフォン)アドレス
<https://www.lmo.go.jp>

LMO

検索

支部行事予定 (1～3月分)

三 沢

- 1月 健康保険の被扶養者資格確認調査
後期定期健康診断
- 2月
- 3月 制服等更新分貸与 (第2回)

横 田

- 1月 健康保険の被扶養者資格確認調査
成人病予防健康診断 (～2月)
後期定期健康診断 (～2月)
- 2月 制服等更新分貸与 (第2回)
- 3月

横 須 賀

- 1月 健康保険の被扶養者資格確認調査
成人病予防健康診断 (婦人がん健診～2月)
- 2月 後期定期健康診断
- 3月 制服等更新分貸与 (第2回)

座 間

- 1月 健康保険の被扶養者資格確認調査
後期定期健康診断
- 2月 制服等更新分貸与 (第2回)
- 3月

京 丹 後

- 1月 健康保険の被扶養者資格確認調査
- 2月
- 3月

岩 国

- 1月 健康保険の被扶養者資格確認調査
後期定期健康診断 (～2月) (呉地区)
- 2月 制服等更新分貸与 (第2回)
成人病予防健康診断 (婦人がん健診)
- 3月

佐 世 保

- 1月 健康保険の被扶養者資格確認調査
成人病予防健康診断 (～1月)
- 2月
- 3月 制服等更新分貸与 (第2回)

沖 縄

- 1月 健康保険の被扶養者資格確認調査
成人病予防健康診断 (婦人がん健診)(～2月)
後期特殊健康診断 (～2月)
- 2月 制服等更新分貸与 (第2回) (2/19～3/1)
- 3月

編集発行

独立行政法人 駐留米軍等労働者労務管理機構【エルモ】
総務部総務課

東京都港区三田3-13-12 三田MTビル6階
Tel: 03-5730-2163

ホームページアドレス P C: <https://www.lmo.go.jp>
mobile: <https://www.lmo.go.jp/m/>

